

経営比較分析表（令和4年度決算）

新潟県 三条市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.30	9.75	94.12	3,795

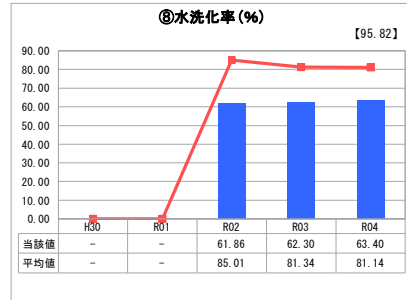
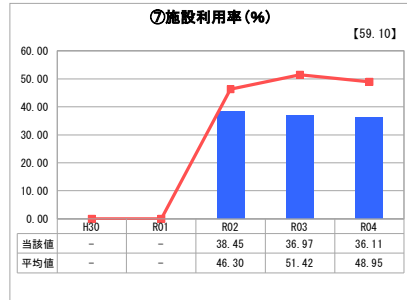
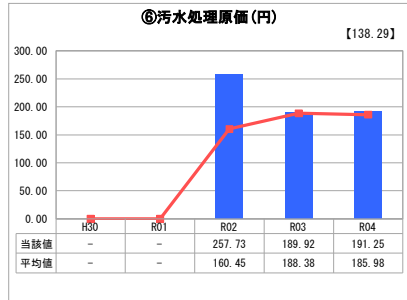
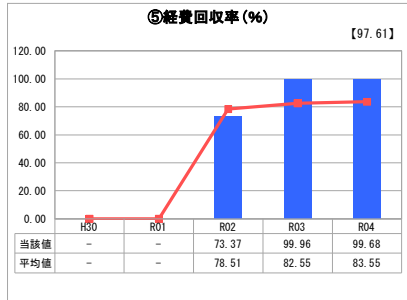
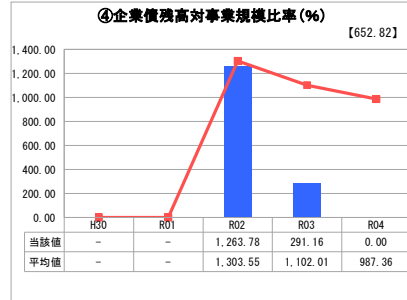
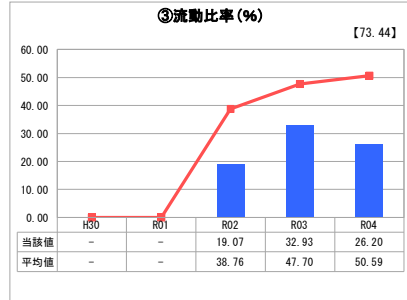
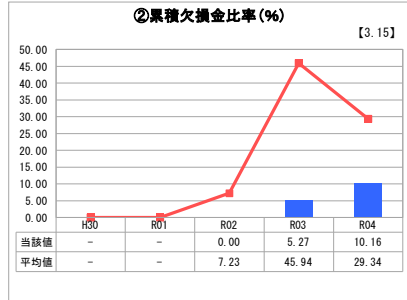
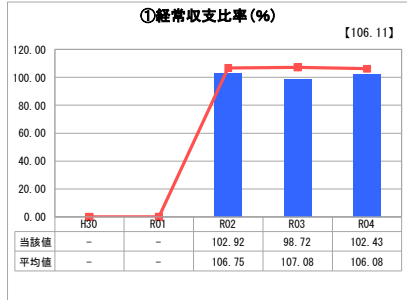
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
93,403	431.97	216.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,073	1.95	4,652.82

グラフ凡例

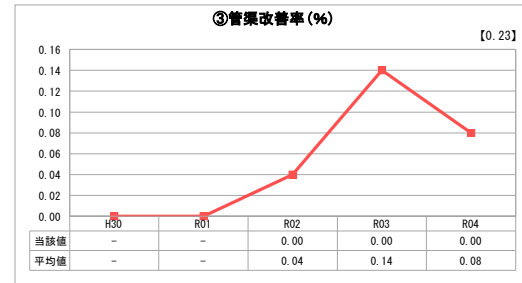
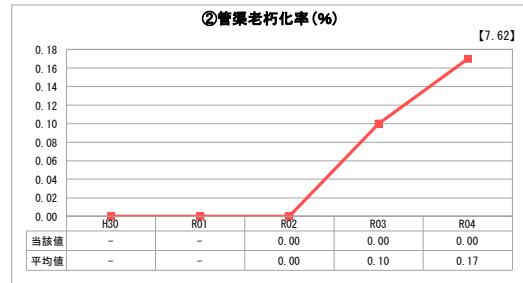
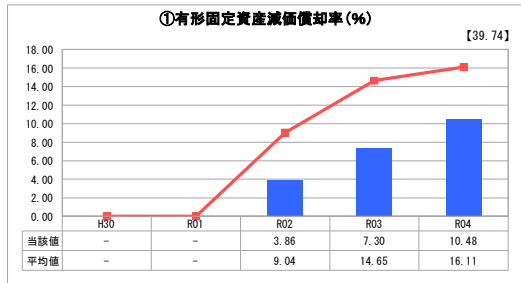
- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の公共下水道事業は、昭和53年度に全体計画を策定し、その後順次事業認可を受け、処理場建設工事、幹線工事、面整備を実施してきた。現在も整備を進めている途中であり、普及率は依然として低い状況である。

経営状況については、①経常収支比率が100%を上回っているが、実態としては一般会計からの基準外繰入金により収支均衡が図られているため、経営状況は依然として健全とは言えない状況である。

③流動比率については、経費に占める償還元金の割合が高いことから、類似団体よりも下回っている。そのため、支払能力を高めるための経営を図る必要がある。

また、普及率及び接続率が低く、⑦施設利用率及び⑧水洗化率が低いことから、接続率向上に向けた対策を進めるとともに、適切な施設投資規模についても引き続き検証していく。

なお、④企業債残高対事業規模比率については、報告した令和4年度地方公営企業決算状況調査の数値に誤りがあったため、適正な値の算出がされていない。

2. 老朽化の状況について

現在、整備を進めている状況であり、現時点では老朽化した施設はない状態である。しかし、類似団体と比べると低いものの、①有形固定資産減価償却率も年々上昇しており、今後の管渠の老朽化にも備えて、将来を見据えた計画的な老朽化対策が必要となる。

全体総括

人口減少や少子高齢化による地域社会構造の変化に対応するとともに、健全な下水道事業経営を目指すため、平成28年度に策定した「三条市汚水処理施設整備構想」を基に着実に整備を進めていく。

供用開始済の地区においては、戸別訪問等により下水道接続を促進し、施設利用率の向上に努め、安定的な収益を確保する取組を行っていく必要がある。

また、予算の弾力条項規定の適用や建設改良費予算の繰越手続の簡素化など予算執行の弾力化を図るとともに、ストックやコスト情報を明確にし、下水道事業会計の実態をこれまで以上に把握するため、令和2年度より財務会計部門において法適用事業（公営企業会計）へ移行している。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。